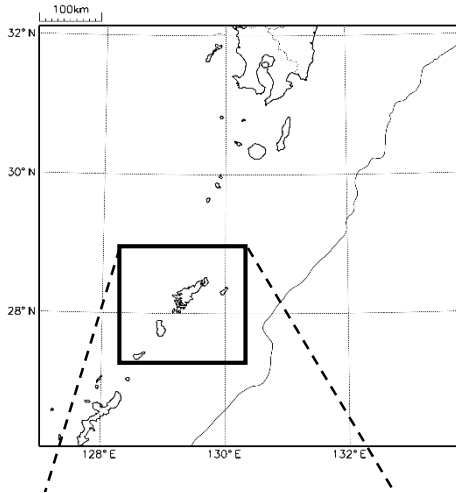


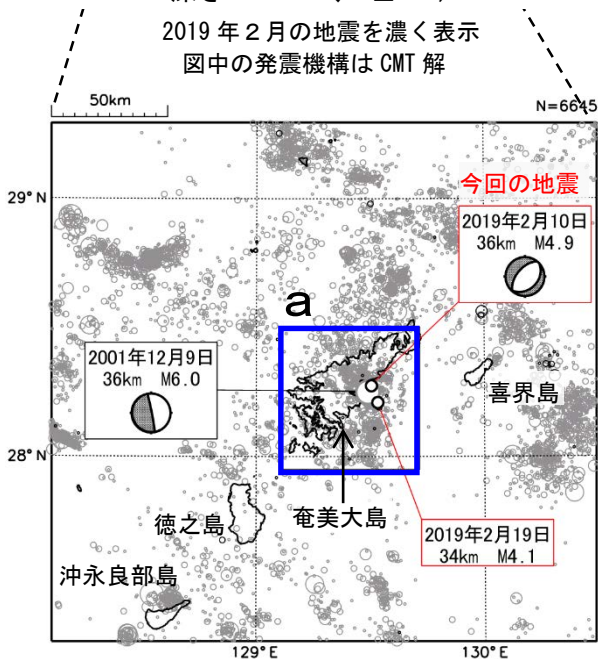
## 2月10日 奄美大島近海の地震



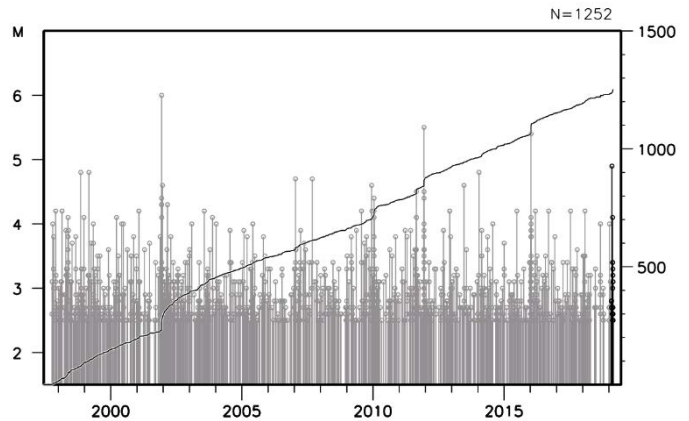
2019年2月10日14時34分に奄美大島近海の深さ36kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型である。また、2月19日17時09分にはほぼ同じ場所でM4.1の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)は地震活動が活発な領域で、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)ではM6.0以上の地震が6回発生している。1970年1月1日に発生したM6.1の地震では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。また、2001年12月9日に発生したM6.0の地震(最大震度5強)では、住家一部損壊1棟などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

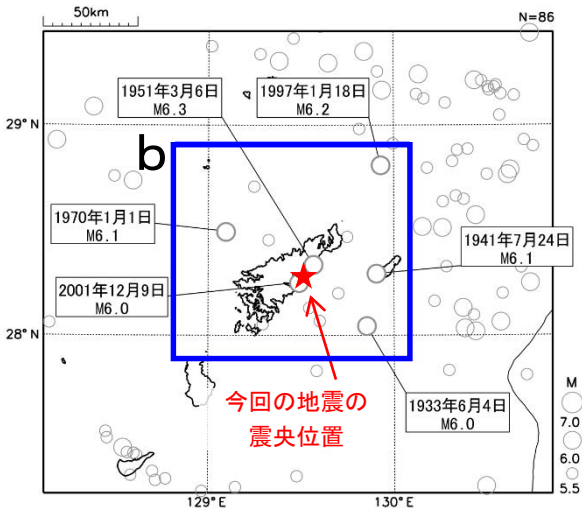


領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2019年2月28日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ )



領域b内のM-T図

(この期間は地震検知能力が低い)